

令和5年第4回市議会定例会が開催されるに当たり、市政の諸課題をはじめ提案いたしました議案について、その概要を御説明申し上げます。

はじめに、先月発生した台風第7号は、8月15日の夕方から夜遅くにかけて福井県に最接近しました。本市において、大きな被害はありませんでしたが、近畿・中国地方を中心に、各地で大きな被害がもたらされました。被災された方々に心からのお見舞いを申し上げます。

私が市長に就任してから4か月で、既に4回も災害対策連絡室を立ち上げています。自然災害はいつ起こるかわかりません。今後も油断なく市の災害対応力の向上に努めます。

なお、8月16日に開催予定であった第74回とうろう流しと大花火大会につきましては、台風の接近に伴い、会場周辺の安全確保対策等、開催に必要な準備が困難であるとの判断から、花火大会が中止となりました。

5年ぶりの開催を心待ちにしていた大勢の皆様には、非常に残念なことでした。昨年に引き続き、天候により中止となった状況を踏まえ、来年度以降の大会については、開催方法の見直しを主催者である敦賀観光

協会とともに検討していきたいと考えています。

来年こそは、花火大会が盛大に行われ、まちに賑わいと活気が満ちあふれることを期待しています。

4年ぶりとなる敦賀まつりについては、今年2日から3日間にわたって、無事に開催されました。今回は、北陸新幹線敦賀開業200日前イベントとして、沿線市町等の戦国武将隊によるパレードや観光物産展などが開催され、新幹線開業に向け、市内外に本市の魅力を発信することができました。

御参加いただいた市民の皆様や御協力、御尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

ところで、7月28日から8月8日の12日間、人道の港敦賀ミュージウムでガイド活動を行っている高校生12名がポーランド共和国とリトアニア共和国を訪問しました。私も訪問前後に高校生と面談する機会があったのですが、高校生自身の努力もあり、素晴らしい経験をされたと感銘を受けました。

今回の派遣事業で得た知見や体験等を、市民の皆様をはじめ広く多くの方々に知っていただくため、11月3日のムゼウムリニューアル3周年記念に合わせ、企画展示会の開催を計画しています。

今後も、「人道の港敦賀」を国内外に積極的に発信するとともに、人道の港に関連する取組で得られたものをどう市民に幅広く還元していくか、草の根の交流にしていけるか、あるいは観光に結びつけられるか、を追求していきたいと考えています。

それでは、今議会に提案した議案の提案理由の説明とともに、当面する市政の課題とその対応について申し上げます。

まず、北陸新幹線敦賀開業については、先月30日に、金沢・敦賀間の開業日が令和6年3月16日となることがJR西日本とJR東日本から発表されました。改めて、これまで開業に向け御協力、御尽力いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。

開業まであと190日と迫る中、金沢・敦賀間においては、今月23日から、試験車両であるイーストアイを使用する総合監査・検査が開始

されます。

開業への期待感が高まるこの機会を捉え、市民の更なる機運醸成に繋げるべく、来月1日には、敦賀市民をはじめとした嶺南6市町在住の500人とともに、北陸新幹線W7系を駅ホームにて歓迎するセレモニーを開催します。

次に、開業に向けての首都圏や沿線での誘客促進については、10月26日から30日に、JR大宮駅近くのイオンモール与野において、本市と敦賀商工会議所、敦賀観光協会の三者共同により「つるが観光物産交流フェア」を開催します。期間中には、私も現地へ出向き、敦賀の食や自然、歴史、文化などを、関係の皆様と一体となってPRします。そして、新幹線で距離感が圧倒的に縮まる北関東エリアでの本市の認知度向上を図り、開業後の観光客増加に繋げていきます。

開業時の観光客の受入れ体制については、本市の玄関口である駅西口において、敦賀観光協会に補助を行い、観光案内所機能を拡充・強化します。

また、駅東口の駅前広場及び駐車場については、現在、本市が進める整備が計画どおり進捗しています。今議会では、それらの設置及び管理に関する条例案を提出するとともに、管理に係る経費を補正予算に計上しました。

さらに、駅西側の立体駐車場が現状でも非常に混み合っていることから、これを緩和するため、白銀駐車場の効率的な運用を図ることを目的とし、条例改正案を提出しました。

新幹線開業時の二次交通の重要性については、これまでも議員の皆様から御指摘をいただいています。その二次交通で大きな役割を果たす市内タクシーの多くは、現在、LPガスを燃料としていますが、LPガスを供給する市内唯一のスタンドが来年春に廃止されることとなりました。これに伴い、今後、各事業者による車両の買換えを進めていただき、北陸新幹線開業時に一定の台数は確保する必要があると考えています。この買換えにあたり、ゼロカーボンシティ宣言を表明し、脱炭素先行地域に選定された本市として、環境負荷の少ないハイブリット車や電気自動車といった次世代タクシーの導入を促進するため、費用の一部を補助します。

次に、原子力政策について申し上げます。

先月 22 日に全原協役員とともに松野官房長官をはじめ、関係省庁の政務官と面談し、原子力発電等に関する要請を行いました。

私からは次世代革新炉の開発・建設に向けた具体的取組を加速すること、立地地域共通の課題である原子力防災対策を充実させること、特に避難道路の整備を促進すること、などを強く求めました。

今後も、全原協や立地協など全国の立地市町村と連携し、立地地域が抱える諸課題の解決に向け、国の主体的な取組を求めています。

次に、人口減少対策について申し上げます。

本市の人口につきましては、減少傾向が続いておりますが、近年、特に出生数が急激に減少しており、これと同時に婚姻数も急激に減少していることまでは把握できています。そこで、まず、婚姻数の増加に取り組みたいと考え、今回の補正予算では、結婚を希望する方の様々な出会いを支援するための経費を計上しました。

また、若い世代の結婚を経済的に後押しするため、県とともに、新婚

生活を始める際の支援を行います。

子育て支援については、更なる子育て環境の充実を図るため、子どもの一時的な保育等を実施するすみずみ子育てサポート事業及び一時預かり事業において、それぞれ運営事業者を追加するための経費を今回の補正予算に計上しました。

また、ひとり親家庭の子どもが、習い事を通して心身の成長を図ることができるよう、習い事に要する費用の一部を補助します。

次に、パートナーシップ宣誓制度の導入について申し上げます。

本制度は、お互いを人生のパートナーとして、日常の生活において協力し合うことを約束した関係であることを宣誓したセクシュアル・マイノリティのカップルに対して、自治体が独自に宣誓書受領証等を発行し、様々なサービスや社会的配慮を受けやすくするものです。

パートナーとして公的に認められていないことによる、セクシュアル・マイノリティのカップルの生きづらさや困難を解決する一つの方策として、本市においてもこの秋からの制度導入に向け、市民理解を深める取

組を含めた関係経費を今回の補正予算に計上しました。

次に、エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策について申し上げます。

まず、電気料金及び燃料価格高騰による影響を、利用料金へ転嫁することが困難である障がい福祉サービス事業所、介護サービス事業所及び私立保育園等に対して支援を行います。

また、市内中小事業者に対し、省エネルギー設備の導入に係る経費の一部を支援します。今年6月に敦賀商工会議所が市内企業を対象に行った「物価高騰に関する緊急アンケート」では、電気料金の引上げ等により事業に影響が出ている、又は今後出てくるとの回答が8割を占めました。この結果を踏まえ、今回の支援により将来にわたるコスト削減を通じて中小企業の経営改善に繋げるとともに、ゼロカーボンシティとして地域の脱炭素化の取組姿勢を内外に示します。

次に、ふるさと納税について申し上げます。

令和4年度の本市へのふるさと納税につきましては、約87億円と非常に多くの御寄附をいただきました。この場をお借りし、本市を応援していただいている全国の皆様、市内事業者をはじめとした関係者の方々に心から感謝申し上げます。

このふるさと納税については、来月1日からは、寄附者による使途指定を無くし、本市の事業全般に活用できるよう変更したいと考えています。

近年、本市においても行政需要は年度ごとに目まぐるしく変化し、寄附者の意向と本市の行政ニーズを一致させるのが難しくなっている現状があります。今回の変更により、柔軟な寄附金の活用を図り、規律ある財政運営に取り組みます。

次に、市職員の職場環境づくりについて申し上げます。

私は、市民サービスを一層向上させるために、そしてチーム市役所の力を最大限に発揮するために、市職員の働き方改革、職場環境づくりは何としても前に進めたいと思っています。日本社会全体を見ても、少子化の原因の一つに長時間労働が挙げられるなど、ワークライフバランスの実現は社会全体の目標であり、市内事業者にワークライフバランスを呼び掛け

てきた市役所こそ、率先して始めるべきだと考えます。

そこで、今月1日に「敦賀市職員働き方・仕事の進め方改革推進プログラム」を策定し、各種取組を全庁的に進めていくこととしました。このプログラムによる職場環境の改善を進め、「自由闊達・縦横コンパクト・思いやりのある職場」の実現に向けて取り組んでいきます。これに伴い、今議会では、庁内事務の更なるデジタル化に要する経費など、業務の効率化を推進するための予算を計上しました。

ただいま申しあげました諸事業に加え、今回の補正予算案のうち主なものについて申し上げます。

道の駅整備検討事業については、本市の特性や他市町の事例を踏まえた基礎資料の作成に必要な調査費を計上しました。

障害者福祉施設改修事業については、市立やまびこ園における施設の個室化やバリアフリー化等についての実施設計が7月末に完了したため、本体改修工事に係る予算を計上しました。

西公民館建設事業については、建設から43年が経過し、施設の老朽化に懸念があることから、移転新築に向けた計画を進めたいと考えており、

地元との協議を踏まえ、候補地となる市立敦賀病院駐車場等の測量に係る経費を計上しました。

金山地係で進めている一般廃棄物最終処分場建設工事については、当初の想定よりも浅い地層で硬質岩が露出し、掘削工事等に遅れが生じていることから、竣工の時期を令和5年度末から令和6年度末に変更したいと考えています。また、物価の高騰に伴い、いわゆるインフレスライド条項の適用による費用の増額分等を今回の補正予算に計上しました。

これらの結果、今回提出した一般会計の補正予算案の規模は7億7,240万6千円、本年度予算額の累計は418億6,927万9千円となります。

その他の議案につきましては、令和4年度の各会計における決算認定の件のほか、それぞれ議案書に記載の理由に基づき提案しました。

また、本市に寄せられました寄附金品につきましては、別紙お手元に配布のとおりです。その御厚志に対し、市民を代表して厚く御礼を申し上げます。

以上、今回提案した予算案などについて御説明申し上げました。何卒
慎重に御審議をいただき、妥当なる議決を賜りますようお願い申し上げま
す。